

中部農林 散策

令和8年 2月12日号

発信者 校長 新垣博之

祝 中部農林 創立記念 講演会・式典・祝賀会 開催

去る1/24に中農林高校創立 80 周年・中部農林高等支援学校創立10周年 記念講演会・式典・祝賀会が、本体育館にて、生徒・職員・ご来賓・PTA・同窓会など総勢、900 名を越える参加者のもと、開催されました。本校行事の特色である、花と緑の装飾で彩られた会場で、温かい雰囲気の中、厳かに行われました。記念講演会では、「100 周年に向けた20年後の私たち」と題して、卒業生 3 名をお招きして、会場の生徒とテイスカッションが行われ、本校での学校生活で得られること、それを生かして社会で取り組めることなど、意見が交わされました。記念式典では、県教育委員会教育長、うるま市長様のご挨拶・生徒代表あいさつ、また本校卒業生 俳優の比嘉愛未さんからの祝いのメッセージをいただきました。

祝賀会では、ご来賓・PTA・同窓会、職員等で、創立記念のお祝いをしました。



記念事業期成会長 照屋 守道(同窓会長) 様ご挨拶



合唱隊とともに参加者全員で校歌斉唱



生徒代表あいさつ (全日制・定時制・高等支援)



生徒達は、礼儀正しく、参加態度も立派です



期成会より 生徒輸送用ワゴン車の寄贈

卒業生 比嘉愛未 先輩(熱帯資源科卒)からのメッセージ 抜粋

この学び舎で過ごした日々は、私にとって未来へ進む力となり、今につながる大切な礎となりました。在学中に出会った先生方、仲間達、その一つひとつの経験が今も私の背中をそっと押し続けております。…… 中略

創立 80 周年の歩みの中で育まれた、多くの才能と人間性は今も社会のさまざまな場所で確かに息づき、輝いて折ります。これからもこの学校から羽ばたく若者達がたくさん誕生していくことを心より願って折ります。

テーマ「 100周年に向けた20年後の私たち 」



100周年に向けた20年後の私たち



フロアの生徒から質問や多くの意見が交わされました



ファシリテーター 島袋 優 (会社代表) (熱帯資源科卒)
パネラー

- 識名農園 代表 識名共史 氏 (園芸科学科卒)
- 辺野古区 自治会長 徳田真一 氏 (造園科卒)
- 合同会社チャッピー 山城 翼 氏 (熱帯資源科卒)



祝賀会 幕開け 同窓生 総勢 19名 琉球古典音楽



祝賀会 余興 福祉科生徒有志 手話ソング・演舞

創立80年「地域担う人材を」うるま

【うるま】中部農林高校の創立80周年、中部農林高等支援学校の創立10周年の記念式典が1月24日、うるま市田嶋の同校体育館で行われた。中部農林高校は1946年1月10日に当時の興志川村字田嶋門原に創立され、今年で80年を迎えた。

中部農林高で記念式典
キクの校章 生徒らが展示

式典会場入り口には、80周年記念式典装飾として造園科による和風庭園が展示され、式典に向かう人も足を止めて見入っていた。

中村正人うるま市長は「教職員をはじめ、保護者や関係者の支援により、21世紀を担う人材育成が着実に図られていることに感謝する」と祝辞を述べた。



県出身で同校卒業生の女優、比嘉愛未さんからも祝電が届いた。舞台上で展示されたキクは式典後、うるま市へ寄贈された。

式典後、生徒らは「これからも先輩たちを見習い、社会に羽ばたきたい」などと語っていた。(山口英憲通信員)

創立記念式典で
先輩たちの思いを次世代へ

〇〇中部農林高と中部農林高等支援学校の創立記念式典で「歩みを続けてこられたのは先輩方が築いた伝統と、先生方、保護者、地域の皆さまのおかげ」とあいさつした。「思いを受け継ぎ、次の世代へとつない

でいきます」と力強く述べた。「中部農林高校がこれまでとこれからを考えることを願う」と語った。舞台を華やかにしたフラワーデザインの、菊の校章。一昨年から準備を始めた作成したという。(うるま、山口英憲通信員)



石川 肇さん (18)

琉球新報 2/8 2024年2月5日(日)



式典当日に会場設営 大事な学習活動です



園芸科の装飾 (すべて実習作品)